

令和5年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 南幌町商工会 経営発達支援事業 評価支援委員会
2. 開催日時 令和6年3月25日(月)13時30分
3. 開催場所 南幌町商工会館 2階 研修室A
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 南幌町 産業振興課長 岩本 聖
南幌町農業協同組合 総務部長 笹島 忍
 - (2) 商工会関係者 <北海道商工会連合会>
組織経営支援部企業支援課・広域支援課 主幹 工藤大幸
<南幌町商工会>
会 長 和田 修
副 会 長 吉田義哉 細川義雅
部 会 長 境 憲明(工業)伊藤祐介(サービス業)
事 務 局 長 柿崎 納
事務局次長 長谷川次人

5. 内容

出席者が揃ったので事務局長が開会を宣し、和田商工会長が開会挨拶を行った。

議事進行は、和田会長が行う。審議事項に関連性があるので1～3まで一括、4と5事務局より夫々説明し、質疑等いただく。

1. 第2期経営発達支援計画について

事務局は、別紙資料に基づいて説明した。

2. 令和5年度伴走型小規模事業者支援推進事業報告及び決算について

事務局は、令和5年度において経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業を別添資料に基づき説明した。

◆令和5年度伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告

経営発達支援事業の評価・見直しを行う事業

具体的な内容

①クラウド型経営支援ツール導入

支援ツール 「経営支援システム Shoko Biz」

経営分析数 57件(目標25件)

事業計画策定数 23件(目標15件)

3. 令和5年度経営発達支援事業実績報告について

事務局より、別紙資料(評価シート)に基づき説明した。

和田会長 1～3について質疑等受けます。

工藤委員 4. 需要動向調査に関する②商工会ホームページを活用したア

ンケート調査と6. 事業計画策定支援に関する①DX推進セミナー・個別相談会の開催に関して、評価はDとなっているが、小規模事業者にはSNS等の活用を助言しているので、評価はCでいいと思う。

岩本委員 経営分析した小規模事業者で、経営課題はどのようなものなのか。

事務局 主な経営課題は、販路開拓や営業利益の確保です。コロナ禍からまだ回復していない現状です。これらの課題解決のため伴走支援しています。

4. 令和6年度伴走型小規模事業者支援推進事業の事業計画（案）及び予算（案）について

事務局は別紙資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して令和6年度の事業計画等の説明を行った。

<経営発達支援事業の評価・見直しを行う事業>

①クラウド型経営支援ツール導入

このほか、工藤委員に南幌町の集客施設4か所に設置しているデジタルサイネージへの広告掲載について伴走型事業として、相応しいか相談した。主にランチ営業店を想定しています。

工藤委員 特に「はれっば」は町外のファミリー層の利用が多いので、新たな需要の開拓につながると思う。補助事業の期間が2月までとなっている点に注意が必要です。

伴走型補助金の申請は、例年4月中旬ごろから下旬までなので、事業者数、予算をつめるように。

紙のリーフレットもいいが、デジタルを活かした需要の開拓もいいと思う。

岩本委員 折角デジタルサイネージがあるので、有効活用して経営課題の解決につなげてほしい。

事務局 主にランチ営業店への説明や町の担当課と相談しながら進めていきます。

5. 事業の評価・見直し等について

和田会長から各委員へ経営発達支援事業の実施状況報告や成果の評価、見直し、改善等の意見を求めた。

事務局 様々なご意見をいただきましたので、今後の小規模事業者の経営発達支援に役立てて参ります。

その他、会長は意見等を求めたが特に発言はなく、評価支援委員会を閉会した。

時に 14 時 30 分